

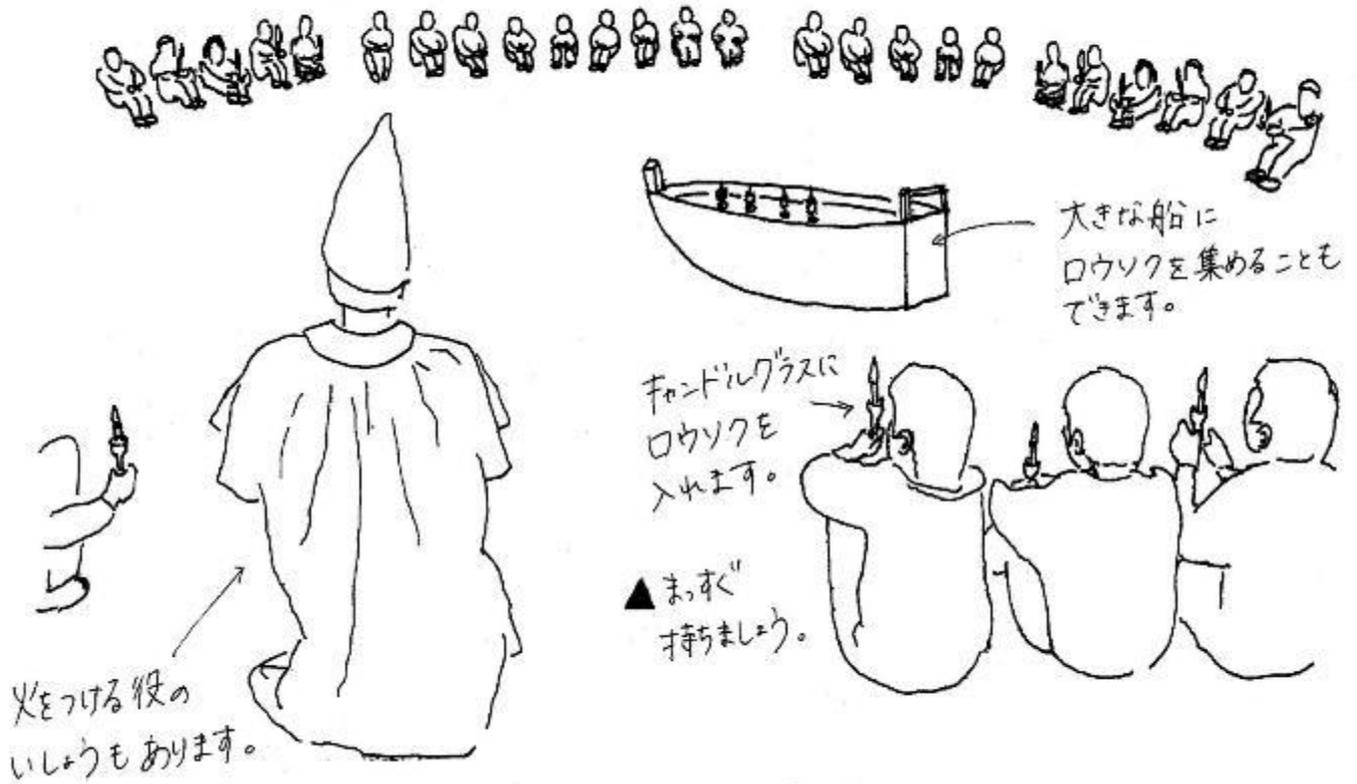
キャンドルセレモニー



活動場所	プレイルーム	自然の家に あるもの	キャンドルセレモニー用ロウソク (有料)、ろうそく立てグラス、マ イク、スピーカー、火の神の衣装
所要時間	1時間程度		
人数	制限無し	利用者で 用意するもの	BGM

キャンドルの灯りを見ながら静かな時間を過ごすキャンドルセレモニーです。静けさの中、炎を見つめながら、自分を振り返り、友情を深め、情熱を燃やすことは心に残る思い出となります。神聖な火の下につどい、見つめ合い、語り合うことを通して、友情と協同の精神を育む活動になります。

キャンドルセレモニー



とくに大切なこと

- ①一日をふりかえり、友だちのこと、家族のことを思いながらセレモニーをしましょう。
- ②グラスはかたむけたり、ゆすったりすると、ろうそく倒れやすくなります。まっすぐ持ちましょう。
- ③速く歩くと火が消えてしまいます。ゆっくり歩きましょう。

1. 学習内容

めざすもの（評価）	関連教科	学び（単元）
<ul style="list-style-type: none">・家族など生活を支えてくれる人々に尊敬と感謝の気持ちを持つ。・友達と互いに理解し、信頼し、助け合うこと。・相手のことも理解し、自分と異なる意見を大切にすること。	道徳	「感謝」 「友情、信頼」 「相互理解、寛容」
<ul style="list-style-type: none">・どのように歌うかについて想いや意見を持つことができます。・各声部の歌声や全体の響き、伴奏を聴いて声を合わせる技能を身につけることができます。	音楽	「今日の日はさようなら」 「ふるさと」 「四季の歌」 等

2. ポイント

ア) 活動前

- ・係を決めておく（係、セレモニーの流れの例は次頁を参照）。
- ・白鳥座にグラスと衣装、ステーション横にグラスを集める用の船がある。
- ・グラスは260個、大きいろうそくは30個程度、ろうそくを乗せる台は10個ある。
- ・グラスにろうそくを設置する。
- ・プレイルームの電灯はプレイルームの倉庫で調整できる。

イ) 活動中

- ・火を扱う学習なので、火傷に気をつけるよう指導する。

ウ) 活動後

- ・船は火がついたままスロープを通り、プレイルームから出して指導者で消火する。
- ・残ったろうそくは白鳥座の缶に入る。
- ・使った道具等はもとの場所に戻す。

3. 安全対策について

--

キャンドルセレモニーの流れと台詞（例）

- * 営火長（1名）・・・・・・ 団体を代表する人
- * 聖火係（1名）・・・・・・ 聖火を持ち、営火長を誘導する人
- * 司会者（1～2名）・・・・・・ 会の進行をする人
- * 点火係（4～6名）・・・・・・ グループの代表として火床に点火する人（ろうそくの火を班員に分火する人）
- * 感想発表者（2～3名）・・・・・・ 会の最後に感想や抱負を言う人
- * 会場係（若干名）・・・・・・ 会場準備や音楽、照明を担当する人

◎ 1部：親睦のつどい 45分～55分（なくても良い）

スタンツ 歌 ゲーム 等	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれに練習してきた出し物を披露します。 ・全員ができる歌やゲーム、フォークダンス等を行います。 ・明るく楽しい雰囲気にしましょう。 ・制限時間を決めて、だらだらとにならないようにしましょう。
--------------------	---

◎ 2部：火を迎えるつどい 15分～20分

①入場・整列	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ろうそくを持って入場します。 ・燭台を囲み、起立して静かに待ちます。 ・聖火係は大きなろうそくを持って出発点で待ちます。
②開会の言葉 (司会者)	<ul style="list-style-type: none"> ・開会の言葉 <p>今日一日、私たちを照らしてくれた太陽も、もう今は山に落ち、静かな夜がこの葛川に訪れようとしています。一日ともに過ごした仲間との活動や笑顔を思い出しながら、最後の夜のキャンドルセレモニーを始めます。</p>
③火を迎える歌・ 聖火入場	<ul style="list-style-type: none"> ・「遠き山に日は落ちて」等を全員で歌いながら火を迎えます。 ・（歌が始まったら）聖火係と営火長が入場します。 ・聖火係は聖火を営火長に渡して、営火長の隣りに立ちます。
④営火長の言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・火に関する話や感動的な話をします。 <p>私はみなさんに聖なる火を遣わすためにここ葛川に来ました。赤々と燃えるこの炎には「感謝」「情熱」「協力」「希望」の願いが込められています。葛川少年自然の家で仲間と共にがんばったこと、楽しかったことをいつまでも忘れずに、これからも友情の輪を広げていきましょう。これからみなさんに火を分け与えます。代表者は前に出てきてください。</p>
⑤点火	<ul style="list-style-type: none"> ・点火係は営火長の前に整列します。 ・営火長は点火係に火を授けます。 <p>これは感謝の火。これは情熱の火。これは協力の火。 これは希望の火。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・点火係は営火長の言葉を受けて一人ずつ誓いの言葉を言います。 <p>私たちはいつでも感謝の気持ちを忘れず生活します。 私たちは火のような温かい心、燃えるような魂を持ち、 何事にも情熱を持って生きていきます。 私たちはこの火の輪のように人と協力して生きていきます。 私たちは今日の良き日を忘れず、希望をもって毎日をすごします。</p>

⑥ 営火長の話	<p>・ 今日一日を振り返られるような話をしてください。 (ろうそくの火を一人ひとりに例えて話をします。)</p> <p>みなさんの手の中にあるろうそくの炎をじっと見つめてください。今、目の前にある火は、それぞれみなさんを表しています。ろうそくの火はとても小さいですが、みなさんのために明るい光と暖かい熱を与えてくれます。みなさんも、この火と同じように、隣りにいる友だちに勇気と優しさを与えることができますのです。</p> <p>今日一日、この葛川で〇〇を体験しました。みなさんは今日一日、この炎のように友だちを励ますことができましたか。この炎のように思いやりの心を持って接することができましたか。今日一日の自分を振り返ってみましょう。</p>
---------	--

◎ 3部：火を送るつどい 10分～15分

① 感想発表	<p>・ 発表者は営火長の前に出て、感想や抱負などを話します。</p> <p>家や学校から離れ、大自然の中で活動し、自然の雄大さを感じました。友だちと力を合わせてがんばった〇〇、自然の中での〇〇などから『友だちの大切さ』を感じました。今日のこの感動を忘れることなく、この燃える炎のように、友情の火をいつまでも燃やし続けていきたいと思います。</p> <p>〇年〇組 〇〇〇〇〇</p>
② 集火	<p>・ 中央燭台（ふね）へ順番にろうそくを集めます。</p> <p>(ろうそくを置きに行く順番は、誕生月、班、学級 などがあります。)</p>
③ 歌	<p>・ 「ふるさと」や「四季のうた」、「今日の日はさようなら」等を歌います。</p>
④ 営火長の話	<p>・ まとめとなるような話をしてください。 (一つにまとまった炎を仲間全員に例えて話をします。)</p> <p>前に集まった炎を見つめてください。一つひとつの炎は小さいですが、一つに集まると、こんなにも明るく暖かいのです。ここに集うみなさんも同じです。一人ひとりの力は小さくても、〇名の力が集まれば大きな力となるのです。そして、みんなの力があれば一人ひとりに勇気がわいてくるのです。</p> <p>ここに集う〇名の仲間がお互いに思いやり高め合う集団をめざして、これからの生活を過ごしていきましょう。</p> <p>これからの生活の中でも一人ひとりが大切な存在として輝いていけるように、明日一日を過ごしましょう。そして、みなさん一人ひとりが希望・情熱・協力・奉仕の心を持ち、ここに集う仲間の友情の輪がさらに深まっていくことを願っています。</p>
⑤ 閉会の言葉 (司会者)	<p>・ 閉会の言葉</p> <p>終わりが近づいてきました。この集いでの思いを忘れることなく、これからの毎日を過ごしていきたいと思います。これでキャンドルセレモニーを終わります。</p> <p>それでは、〇〇から順番に退場してください。</p> <p>・ 退場時に・・・音楽を流す、歌を歌う、ハミングする、営火長と握手するなどを取り入れてもよいです。</p>